



じゅうじつ なつやす 充実した夏休みを

2学期が終わりました。5月からコロナが5類に移行されたことで、学校生活の制約がずいぶん減りました。始業式や終業式に、全校のみなんで校歌を歌うことができました。昨年さくねんの1学期にはできなかった家庭科かていかの調理実習ちようりじっしゅうを行うことができました。クラブ活動かつどうの茶道さどうクラブも再開さいかいしました。そして、プールでの水泳すいえいの学習がくしゅうもできました。保護者ほごしやの皆様みなさまや地域ちいきの皆様みなさまには、たくさんのご協力きようりよく、ご支援しえんをいただき、ありがとうございました。明日あしたから夏休みなつやすとなります。健康けんこうと安全あんぜんに気をつけてお過ごしください。

ねん ちゃくいえいこうしゅうかい げつ 5・6年 着衣泳講習会 7/10 (月)

着衣泳講習会ちゃくいえいこうしゅうかいは、衣服いふくを着た状態きじょうたいで溺れたときに、浮いて救助きゆうじよを待つための「背浮きせうき」の仕方を学ぶものです。

鈴鹿市消防本部すずかししょうぼうほんぶの方から、もしも誤あやまって池いけなどに落ちてしまったときに大事なこととして、次の5点を教えていただきました。

- ① 浮いて待つ。
- ② 水の中に助けに入らない。
- ③ 浮くものを投げ入れる。
- ④ 早い119番通報
- ⑤ 大人を呼ぶ。



長袖ながそで、長ズボンながなどの衣服いふくと靴くつを身に付けたまま水に入り、あおむけで水みずに浮く「背浮きせうき」や水面すいめんに投げられた空からのペットボトルぺっとぼっとうを背浮きせうきの状態じょうたいで抱える練習れんしゅうなどをしました。



子どもたちは、最初は怖こわくて体からだに力ちからが入はいってしまい、うまく浮けなかった子もいましたが、慣れてくると、「いつまでも浮いていられる。」「布団ふとんで寝ねているのといっしょ。」と言い始めい はじ、人の体ひと からだは浮くようになっていることを知しることができました。この経験けいけんにより、慌あわててバタバタとするのではなく、「落ち着いて浮いて待つ」ことを思い出してほしいと思います。

ねん た もの はなし もく 2年 エプロンシアター「食べ物」の話 6/29 (木)

食育指導士の方に来ていただき、うんちや朝ごはんの大切さについて教えていただきました。子どもの顔がついたエプロンをつけて授業をしていただき、その子の口から食べ物が入ると、体の中でどのような道筋を通っていくのかわかるようになっていました。小腸がとても長いことがわかるように、実際の小腸と同じくらいの長さに作ってありました。黒板前から後ろの子の席まで届きました。楽しく学びながら、子どもたちは、体に良い食べ物を食べて、よいうんちを出したいと感じたと思います。



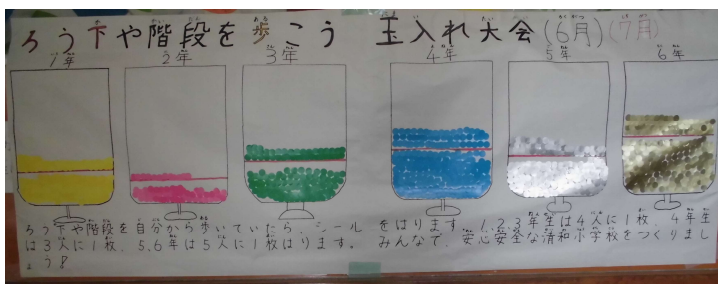
ねん ぶんべつ じゆぎょう きん 4年 ごみの分別の授業 6/16 (金)

4年生は社会で家庭から出るごみについて勉強をします。その一環として、鈴鹿市役所環境政策課の方と、三重県地球温暖化防止活動推進センターの方に来ていただき、ごみの分別の大切さについて考えました。

鈴鹿市のごみ処理にかかった費用は、昨年30億円だったそうです。小学校の体育館を5棟建てられる金額だそうです。費用の問題ばかりでなく、例えば、牛乳パックを燃やせるごみにしたら地球温暖化につながりますが、資源ごみとしてリサイクルすればトレットペーパーやバッグとして利用できます。SDGsの視点から、ごみの分別にすべての家庭が取り組んでいく大切さを感じました。



かいだん ある たまい たいかい ろうかや階段を歩こう玉入れ大会



児童会では、2ヶ月ごとに目標を設定し、全校のみなさんの学校生活がよりよいものとなるように取組を考えて実施しています。6・7月の目標は「ろうかや階段を安全に歩こう」でした。ろうかや階段を走らずに

右側を歩いている子をカウントし、学年の人数の比率に合わせてシールを貼っていく取組をしてくれました。自分たちが守れたことが目に見えてわかり、意識が高まりました。